

教材番号	題名	時間	対象	内容
H3000380	菅の獅子舞	103分	生徒・一般	神奈川県指定無形民俗文化財H13.2.13指定。獅子舞を繋ぐ(18分)菅の獅子舞(71分)子供獅子舞(14分)
H2500160	うつし世の静寂に	96分	生徒・一般	川崎市宮前区初山の十王堂や正八幡神社、人々が行う講(無尽講・念仏講)、「めぐりじぞう」などを紹介し、人々の暮らしと風土を考える。
H2500150	オオカミの護符	114分	生徒・一般	川崎市宮前区土橋に昔から伝わる「お狗さま」とよばれる護符…護符がもたらされる「土橋御嶽講」取材する中で、描かれている動物と深く関わりを持って暮らしてきた人々を紹介する。
H2300030	枳形城落日の舞い	139分	生徒・一般	第3回 川崎郷土市民劇。はるかに多摩川を望む生田緑地の高台、枳形山公園に因む物語。…多摩区の廣福寺に伝わる稲毛三郎重忠の像、綾子の墓。枳形山公園から廣福寺への枳形道をたどれば、時を超え、信を貫き、愛に生きた人々を感じることができる。
H2100420	池上幸豊とその妻	128分	生徒・一般	第2回 川崎郷土市民劇。江戸期の川崎で、村名主として新田開発、和製砂糖の製造、甘藷栽培などに尽力した池上太郎左衛門幸豊の物語。
H2100330	伝統空間選集 10 野沢温泉村の 灯籠祭り	25分	一般	出湯の里に江戸時代から伝わる「灯籠祭り」。私たちは、40歳から42歳厄年までの3年間、祭りを通じてその絆を深めていく。
H2100320	伝統空間選集 9 鹿沼今宮神社祭 の屋台行事	30分	一般	「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、慶長13年(1608)の大干ばつに今宮神社で行われた雨乞いの祈りに端を発するといわれています。行列をなして町を引き廻し、神社に奉納される彫刻屋台の中には、江戸時代日光の社寺造営に携わった宮大工の彫刻もあるとされ、緻密で精細な細工がみる者を魅了します。平成15年、国の重要無形民族文化財に指定されています。
H2100290 ～ H2100310	伝統空間選集 8 下中座の相模人 形芝居	30分	一般	神奈川県小田原市小竹。この地に人形芝居が伝わったのは江戸時代といわれています。「鉄砲ざし」という操法や人形のカシラの構造、上方文楽の「静」に対して「動」とも評される、江戸人形芝居のおおらかな動きなどが特徴です。昭和55年には「相模人形芝居連合会」として国の重要無形民族文化財に指定されています。

H1800120	伝統空間選集 7 金山の有屋番楽	31分	一般	鳥海山・神室山・竜馬山という霊山に囲まれた山形県最上郡金山町では、江戸中期ころ山伏修験者の伝えたいわれる番楽がこの地に根付き、地区の名をとった「有屋番楽」の名で現代に受け継がれています。
H1800100	多摩川に虹をかけた男 田中兵庫物語		一般	平成17年度川崎市青少年舞台芸術活動事業である評伝劇「多摩川に虹をかけた男 田中兵庫物語」の映像化。
H1700050	文学館の魅力 神奈川近代文学館		一般	神奈川近代文学館の紹介映像
H1700010	カワサキの休日 川崎市観光ドラマ	20分	一般	(主な紹介場所) かながわサイエンスパーク・日本民家園・岡本太郎美術館・川崎市市民ミュージアム・川崎大師・ミュージアム川崎シンフォニーホール・ラ チッタデッラ・コリアタウン
H1600090	伝統空間選集 5 信濃姨捨の棚田	28分	一般	長野と松本を結ぶ篠ノ井線。山間を縫うように進む列車で姨捨駅に入ると、旧国鉄時代、日本三大車窓の一つに数えられた景色に出会います。その駅の下に広がるのが、日本人の原風景ともいべき姨捨の棚田。棚田に映る美しい月は、「田毎の名月」として名を馳せる。(長野県千曲市)
H1600080	伝統空間選集 4 信濃大町の子供流鏝馬	26分	一般	古代、伊勢神宮の所領であったこの地に、およそ八百年前にもたらされたと伝えられる流鏝馬。いつからか神の依りやすい無垢な子供が射手を務め、悪霊を祓い五穀豊穡を祈る神事となりました。(長野県大町市)
H1600060	多摩区紹介DVD出かけた・暮らしたい街多摩区 学校貸出用42枚セット 20分	20分	一般	自然が息づき文化が薫る街、多摩区の紹介ビデオ。多摩川、ニケ領用水、ばら苑、生田緑地、枳形山、東生田緑地日向山、日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、フルーツパーク、緑化センター等の紹介。企画川崎市多摩区
H1600010 ～ H1600050	多摩区紹介DVD出かけた・暮らしたい街多摩区	20分	一般	自然が息づき文化が薫る街、多摩区の紹介ビデオ。多摩川、ニケ領用水、ばら苑、生田緑地、枳形山、東生田緑地日向山、日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館、フルーツパーク、緑化センター等の紹介。企画川崎市多摩区

H1500070	伝統空間選集 3 越後二十村郷牛の角突き	30分	一般	かつて二十村郷と呼ばれた山間の地で、「牛の角突き」は、神に捧げる大切な行事として受け継がれてきました。それは厳しい農村の暮らしのこよなき楽しみでもありました。5月から11月の農繁期の合間、一場所70頭あまりの牛が技を披露し激闘を繰りひろげる。（新潟県山古志村・小千谷市）
H1500060	伝統空間選集 2 五所川原の立佞武多	26分	一般	町に電気が普及し、電線が張り巡らされると、巨大ねぶたは、その姿を消していきました。近代文明にかき消された巨大ねぶたをよみがえらせたのは、（青森県）五所川原の人々の熱い想いでした。平成5年にねぶた設計図が発見された契機に、高さ22メートルの巨大ねぶたが市内を巡行するようになった。